

# ぜん ぎょう じ 善巧寺報

3 月号

月刊◎ 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660 榎本明覚



住所：群馬県邑楽郡板倉町板倉（大字）2406

しんらん散歩

～ 宝福寺 ～

# 定例法座

毎月 十一日

◎三月十一日(日)午後二時

～四時

於 善巧寺 法輪会館

## 「仏に成るとは」

「成仏する」という言葉があります  
が、一体、仏に成るといふのは、どう  
いった意味なのでしょう。か。「仏」と  
はインドの言葉である「Buddha」の  
音写であり「目覚めた(人)」「迷いを断  
じ真理に目覚めた(人)」と訳されます  
が、これだけでは言い尽くせないので、  
様々な敬称も用いられます。「如来(如  
去)・応供・正遍知・明行足・善逝・  
世間解・無上士・調御丈夫・天人師・  
仏・世尊」など、これらを総称して「仏  
の十号」と言います。今回は、この十  
号を通して、仏さまとはどのような徳  
を備えた方なのか窺ってみましょう。  
※寒い日がまだまだ続くようですので、  
今回も法輪会館にて行います。

# みほとけ会月例会

◎三月二十二日(木)午後一時

～三時

於 豪徳寺 駅改札南隣ビル三階・ロージナ  
ホール(一階に牛井「すき家」が入ってい  
るビルです。)

会費 五〇〇円

## 『大乘仏教の歴史』

今回は、お釈迦様滅後一〇〇年にお  
出ましになったと言われる天親(菩薩)  
が大成した唯識説について窺ってみ  
ましょう。現在もその解釈について盛  
んに研究されている「唯識」ですが、  
その表題の通り「ただ『識のみ』有り」  
という見方に基づいています。「識」  
とは、眼・耳・鼻・舌・身・意の六識  
を言いますが、この六識下に、自我に  
執着する識(末那(マナ)識)、世界を作  
り出す識(阿頼耶(アラヤ)識)を立てる  
ところに特徴があります。ヨーガの修  
行を通して微細な心の働きを観察し  
ていった瑜伽行唯識派と呼ばれる天  
親菩薩が遺された知恵を学んでみま  
しょう。

# 春季彼岸会

◎三月二十一日(春分の日)

午後二時～三時 於 本堂

## 日程

午後二時～ 法要

午後二時半～ 法話

「当たり前のない世界が

当たり前」

午後二時五〇分終了

法話終了後、お彼岸団子と施本を配  
布いたします。なお午後三時～五時ま  
で客殿にて、「お寺の春期講習」『八  
宗綱要』を読む④を主催いたします。  
※こちらも併せてご参加下さい。今  
回は「法相宗」の続きになります。※  
法相宗とは、天親菩薩の『唯識三十頌』  
の注釈書で、玄奘三蔵がインドから伝  
え翻訳した『成唯識論』を中心とする  
唯識の宗派です。玄奘の弟子である慈  
恩大師 基が開宗し、日本へは遣唐使  
により初め飛鳥法興寺に伝えられ、玄  
昉が興福寺に伝えました。

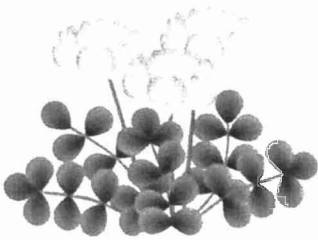
# ◆◆春日部だより◆◆

◎長かった冬もようやくやぐ寒さが緩んで春の便りも届くようになってきました。大雪と寒波のせいでお野菜が高騰、寒い夜はお鍋!とは言っても、なかなか食べられなかった今冬でした。皆様は鍋の具材に何を入れますか? ボタン? サクラ? カシワ?

牡丹鍋と言えば、いのししの事。桜と言えば、馬肉。かしわと言えば、関西の方ならすぐ解る鶏の事です。

◎中国、梁の武帝蕭衍が僧侶に対して『断酒肉文』の御触れを出し、それが日本にも伝わって肉食の禁忌となりました。ただし、隠れて食べていた事もチウホウ有り、それがこのような隠語が作られる原因となったのです。

◎さて、親鸞聖人はそんななか出家仏教を否定し、非僧非俗、肉食妻帯を公然とされた方でした。戒律と言うのは、時に守る者と守れない者を分断し怨恨の種になることもある。戒律遵守や原理主義は一見スティックで尊敬すべき事に見えるが、同時にそれが出来ない人との間に壁を作ってしまう。融通無碍に苦しみを抜こうとするのが出発点だったはずの仏教が、いつしか障壁を築いてしまう。そんな嘆きを親鸞聖人の著作から読み解く事が出来るのではないのでしょうか。



## 肉食妻帯考

中村生雄  
Nakanuma Ikuo

日本仏教の発生

なぜ日本では  
出家者が妻を娶り、  
肉を食べるのか

日本仏教の大きな特徴にして到達点とされる「肉食妻帯」はいつか形成され、定着したのか。国家宗教として仏教が日本にもたらされてから孕みつつある最大の問いを考究し続けた著者の研究成果のすべて。 著者 中村生雄(1952-) 頁上社

◎春のお彼岸がやってまいります。お参りに伺うお宅には、参詣日時を記載したお手紙を同封してありますので、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。

